

2009年6月17日

各 位

オリックス証券株式会社

大阪証券取引所の取引所 FX「大証 FX」に参入 ～店頭 FX「オリックス FX」と合わせて、2種の FX をご提供～

オリックス証券株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：北山 久行）は、株式会社大阪証券取引所（本社：大阪府中央区、取締役社長：米田 道生）が2009年7月にサービス開始を予定している取引所外国為替証拠金取引「大証 FX」への参入を決定しましたので、お知らせします。

FX取引には、店頭 FX と取引所 FX があり、課税方式や取引レートの提示方法などが異なります。当社は2004年2月より、店頭 FX「オリックス FX」を提供しており、口座数、取扱高とも順調に伸びています。一方で、取引所 FX は税制面でお客さまに有利な点があるため（利益に係る税金が申告分離課税（税率20%）で、損金の繰越控除が3年間可能）、取引所 FX もぜひ導入してほしいという声が寄せられていました。この度、こうしたお客さまからのご要望にお応えし、取引所 FX「大証 FX」への参入を決定しました。

今回の参入により、お客さまは相対で取引する店頭 FX「オリックス FX」と、証券取引と同様に「板」を利用した個別競争（オークション方式）で取引を行う取引所 FX「大証 FX」を、ニーズによって使い分けることが可能となり、利便性が向上すると考えています。

当社は、今後もお客さまのニーズに合った商品を常に検討し、サービスの向上に努めてまいります。

- 商 号 オリックス証券株式会社
- 登録番号 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第55号
- 加入協会 日本証券業協会・社団法人金融先物取引業協会
- リスク説明 : <http://www.orix-sec.co.jp/support/important/risk/index.html>
- 手数料 : <http://www.orix-sec.co.jp/commission/index.html>

【大証 FX 取引に関する留意事項】

- 大証 FX 取引は、経済指標・金利水準の変動等による対象通貨ペアの為替レートの変動や金利差調整額（スワップポイント）の支払い等によって損失が生じるおそれがあります。
 - 大証 FX 取引は、取引金額が差入れた証拠金の額を上回る取引を行うことができることから、為替レートが予想とは反対方向に変化した場合には損失額が証拠金の額を上回る可能性があります。
 - 取引に際しては、所定の手数料を申し受けます。なお、現時点では手数料は決定しておりません。
 - 取引単位は1万通貨単位です。
 - 通貨ペアにおいて金利の高い通貨を売付ける場合、スワップポイントの支払いが発生します。なお、スワップポイントの額はその時々々の金利情勢等により日々変動します。
 - 取引に際しては、予め必要証拠金を差入れていただきます。なお、現時点では必要証拠金の額は決定しておりません。
 - お客さまに提示する取引レートは、「板」を利用した個別競争（オークション方式）となりますので、売値と買値には差が生じ、その差額（スプレッド）は市況環境により変化します。
 - 必要証拠金が一定割合を割り込んだ場合には、ポジションを強制決済（ロスカット）いたします。なお、現時点ではその割合は決定しておりません。
- ※ 上記に記載した未決定事項は、決定次第当社 HP に掲載する等の方法によりお客さまにご案内いたします。